緑の都市賞の受賞経過報告

応募名称：渡里湧水群及び緑地等の保全と活用

渡里湧水群を活かす会

１．緑の都市賞とは・・・

・（公財）都市緑化機構が実施する「都市の緑３表彰」の一つ
・緑を増やし守る優れた取組みを表彰するもので、1981年に創設された賞
内閣総理大臣賞は、**緑の都市賞のみ**に与えられる

○目的

緑豊かな都市づくり、街づくりをめざし、樹木や花などの**「みどり」を用いた環境の改善、景観向上等**に取り組み卓越した成果を上げている市民活動団体・企業、都市の緑の保全・緑化の推進等に取り組み顕著な成果を上げている地方公共団体を対象に**顕彰**し、快適で地球にやさしい**生活環境の創出を推進**することを目的とする

○募集部門

・**緑の市民協働部門**、緑の事業活動部門、緑のまちづくり部門の3部門
・市民協働部門の応募対象は、主に市民団体のボランティアを基本とした緑化活動で地域社会や環境へ貢献するもの

２．主催等

主催：公益財団法人都市緑化機構
後援：国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会
協賛：第一生命保険株式会社

３．応募の概要

○応募取組みの名称（湧水群を**活かす**会の関係も踏まえたネーミングとした）
渡里湧水群及び緑地等の保全と活用

○応募の概要（250字の制限の中で、応募名称と今までの活動内容から社会の貢献に繋がった活動としてアピールできるかが悩みどころであった）

水戸市北部渡里台地にある**湧水緑地帯**は、生活・農業用水等に利用されるほど**豊富な湧水**があり、田野川水辺空間とともに古くから住民に愛されてきた。しかし、その湧水緑地帯は、いつしか竹や雑草で荒れ果て見るも**無残な姿**となっていた。これを目にした住民の、昔の豊かな自然を取り戻したいという思いをきっかけとし**『渡里湧水群を活かす会』**を立ち上げ、「**昔の姿を取り戻し**、多くの人々の**憩いの場**となり、さらには地域づくりに繋げたい」を目標に活動を続け８年目を迎えた。徐々に、散歩ができるほどまでに環境が改善されてきた。

○応募に至った背景、取りまとめに当たっての思い

【前職でのまちづくりに関する思い】経済発展に伴う見守る精神性の薄れ・・・

・昔は、公園、道路などの住民による清掃、草刈りなど**愛護活動**が行われていた
　経済成長につれ**愛護精神が失われ、管理は行政任せ**という時代に変貌

・公園、緑地事業では、住民参加型の整備・育成管理手法を導入する事例も増えているが、維持管理は行政がやるべきものという考えがまだまだ一般的

・限られた予算・財源の中で、年々十分な**手入れができず見苦しい状況**が目立つ

・住民一人一人が身近な施設に対して孫子のように愛着を持ち、守り育てるような住民と行政が**共に支え合う協働社会**が必要

【会員として活動してきた感想】協働社会システムの先駆的事例では・・・

・**生きがい創出の場**：互いに尊重、持てる力を出し合い、**生き生きと楽しく**活動

・**手づくり感**：ありものを工夫して作るDIY精神、類を見ない**手作り感**が特徴的

・**行政等との協働**：協働事業助成、粉砕機無償貸出、資器材提供は**活動を後押し**

【事務局担当としてのチャレンジ】

・この素晴らしい活動を『**当会の誇り**としたい、世の中にアピールしたい、まちづくりの参考事例にしてもらいたい』こんな思いを込めて**緑の都市賞**に応募

・7年間の活動を、取組概要、技術的工夫、環境への配慮、波及効果、今後の継続性と展望」などを約5千字の本文と写真20枚にまとめ、入賞を目指し応募

４．応募、審査等スケジュール

応募期間：４月１日～６月３０日
審査会等：一次８月２０日、現地確認９月６日　二次９月１７日
入選発表：１０月１４日　　⇒栄えある**内閣総理大臣賞**に！！！
（10月29日：日本公園緑地協会全国大会で本取組みの事例を発表）
表彰式　：１１月２２日　ＪＲ信濃町駅　明治記念館
佳子内親王殿下　オンライン視聴・おことば

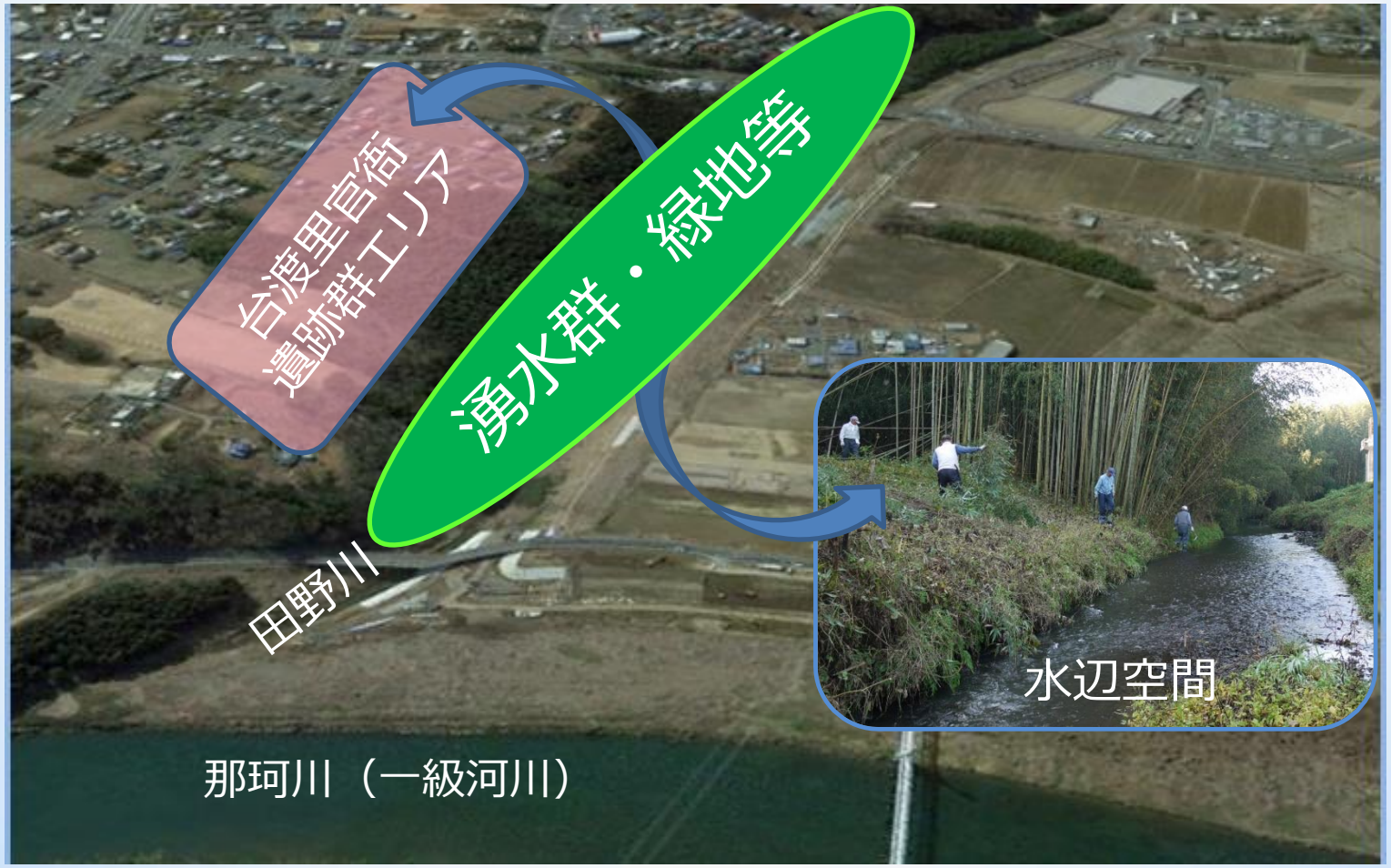
５．審査の状況、評価等について

一次審査以降の主催者事務局とのやり取り、現地審査、主催者役員等との懇談、表彰式お茶会での懇談等での**皆様からの評価談**は以下の通り

・他団体でも環境改善、保全の取り組みは一般的だが、荒れ果てた中からの環境改善、生物多様性の創出は素晴らしい。水資源の確保、歴史的環境の保全などを取り入れた取り組みは珍しい。（審査委員全員の一致した評価とのこと）
・息切れせずに毎回4、50人ほどの人が活動に参加している情熱には驚いた。
・雑踏から隔離された自然豊かな手作り感のある空間は他では味わえない。
・会員の活き活きとした表情・活動の姿、工夫を凝らした活動は素晴らしい。
・地域の資源を活かした水辺空間、歴史的空間の魅力づくりへの展開性は、今後の活動に是非期待したい。（受賞効果を活用した**今後の展開が楽しみ**）

参考：今後の展開構想（イメージ）

〇今までの活動継続＋魅力ある空間創出（水辺空間・歴史的空間）

⇨ 行政（水戸市、茨城県（河川管理者）との意見交換

➡ 行政等と協働し、地域の発展に向かって一歩、一歩前進